

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

6

June
2018

山形県中小企業家同友会

月刊 同友

やまがた



第34回定時総会 記念講演

講師 株式会社まるは 代表取締役

ほんのとよかず
坂野豊和氏

社長の[®]
学校

よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2018年度スローガン

「人を生かす経営」の総合実践で
地域と日本経済の発展に貢献しよう

「人を生かす経営」の総合実践で 地域と日本経済の発展に貢献しよう



4月25日、パレスグランデールにおいて、山形県中小企業家同友会第34回定時総会が開かれました。2018年度は「『人を生かす経営』の総合実践で地域と日本経済の発展に貢献しよう」のスローガンのもと県内各地から会員が集い、記念講演には来賓・ゲスト参加者も含め181名が参加しました。

来賓としては山形県平山雅之商工労働部長、山形市山口範夫商工観光部長、山辺町遠藤直幸町長、公益財団法人山形県企業振興公社石澤義久理事長、(株)日本政策金融公庫内田裕彦山形支店支店長兼事業統轄、おなじく鈴木康弘中小企業事業総括課長、おなじく小林正良国民生活事業総括課長、山形県信用保証協会大沼善広常務理事、(株)山形銀行長沼清弘常務取締役本店営業部長、(株)きらやか銀行高橋幹男常務取締役、おなじく早坂徳四郎常務取締役、(株)荘内銀行橋本慶昭執行役員山形営業部長、山形県信用金庫協会堀明彦事務局長、山形信用金庫上島健司専務理事、おなじく伊藤寛範業務部長にご臨席いただきました。

定時総会では阿部秀顕氏が議長に選出され、議事に入りました。西塔代表理事が2017年度活動のまとめ、後藤副代表理事が中期ビジョン進捗報告、齋藤専務理事が決算報告、奥山会計監事が会計監査報告を行いました。

2018年度役員には27名の理事と2名の会計監事が選出され、代表理事に西塔秀幸氏と菅原茂秋氏、副代表理事に後藤智樹氏、専務理事に齋藤志直氏が再任されました。

2018年度活動方針案については西塔代表理事の全体概要の提案後、5つの委員会の委員長と2つの部会の部会

長が活動方針と計画を説明し採択され、続く2018年度予算案も満場一致の拍手で承認されました。

その後、新役員を代表して菅原代表理事から「私ども一同、会員企業の発展、同友会運動を通して地域経済の発展のお役に立つことが最大の使命だと考えています。誠心誠意取り組んでまいります所存です」とあいさつがありました。



記念講演の開会セレモニーでは西塔代表理事が参加された方々にお礼の挨拶を述べた後、遠藤直幸山辺町長より来賓挨拶をいただきました。

引き続き行われた記念講演では「志とその覚悟が、ひとを動かす～創業者の想いを大切にお客様・地域・社員に愛される企業づくり～」と題して坂野豊和氏(株)まるは代表取締役・愛知同友会)に講演いただきました。

魚屋として創業してからお客様の声にこたえて食堂、温泉旅館、リゾート施設と展開し続けた(株)まるは。1993年にオープンした温泉旅館では、あまりの忙しさにサービスの質が低下。地域、お客様、社員の信頼を失います。そんな中で後継者として戻ってきた坂野氏は原点に立ち返り食品の鮮度徹底、地域団体との関係構築と奮闘しますが、社員の信頼回復に悩んでいました。2003年にゲスト参加し



た例会のグループ討論で自身の悩みを打ち明けたことを機に愛知同友会に入会し、経営指針を成文化。経営指針に基づいた新規出店を進めました。

その後は同友会で学んだ考えを次々と実践。社員満足の視点での取り組み、社内グループ討論、創業者や先代の理念をヒアリングしたパートナーカードの作成と活用などの取り組みを行い、地域、お客様、社員と共に育つ会社づくりを行いました。その結果、やめた社員が戻ってくる、有料求人を持たなくても人が集まる、新店舗の店長は社員が自発的に立候補、社員がお客様として来てくれるといった変化が生まれました。

坂野氏は最後に「非連続の時代だからこそ常に原点に立ち返れる準備が必要。私は今の仲間たちとならば原点にも負けない自信があります。中小企業は社員と思いの共有がしやすい環境です。やるかやらないか、それが自立型企業、強靱な企業になるのではないかと思います」と語り、参加者が自社の理念、原点に立ち返る機会となりました。

第3部の懇親会は佐藤実行委員長挨拶の後、山形県平山商工労働部長、山形市山口商工観光部長、山形銀行長沼常務取締役より来賓挨拶があり、きらやか銀行の高橋常務取締役の乾杯で始まりしました。

懇親会では昨年に引き続き「乾杯後10分と閉会前の10分は着席し食事を楽しみ、食品ロス削減に取り組もう」という1010運動が提唱されました。

最後に松岡第15回経営研究集会実行委員長が締めめの挨拶を行い、大盛会のうちに閉会しました。



2018年度 役員

(敬称略)

役 職	氏 名	企 業 名
●理事		
相談役理事	川合勝芳	株曙印刷
代表理事	西塔秀幸	西塔社会保険労務士事務所
代表理事	菅原茂秋	株ティスコ運輸
副代表理事	後藤智樹	寒河江物流株
専務理事	齋藤志直	サイトウ自然環境株
理事	越前屋忍	有アド・プランニング越前屋
理事	小川大輔	株カーサービス山形
理事	菊池幸生	株菊池技建
理事	阿部和人	田宮印刷株
理事	佐藤 啓	株サニックス
理事	玉津弘之	株タマツ
理事	赤塚治美	株Hair with Water
理事	斉加義三	斉加商店
理事	阿部秀顕	株山形ビッグファーム
理事	斎藤 源	株オネテック
理事	阿部 敦	有若葉建築
理事	武内賢二	ソーラーワールド株
理事	八代昌弘	株八代鋳金
理事	板垣一紀	株板垣水道
理事	田中雅樹	有グリーンショップ花恵
理事	佐藤 淳	株アルファ・コム
理事	志田清志	株ベーカリー中村屋
理事	成澤克志	有成澤鉄工所
理事	松岡友路	株アイン企画
理事	大久保徳朗	株大久保硝子店
理事	與田貴博	株山形ビルサービス
理事	笹林陽子	有長門屋
●会計監事		
会計監事	奥山 享	有奥山経営センター
会計監事	半澤清彦	株半澤鶏卵

気づき、実践、そして未来を描こう！



5月7日、アクティー米沢を会場として第22回置賜支部総会が開催され、54名が参加しました。多数のゲストも参加し過去最高の動員となりました。

第1部総会では、「気づき、実践、そして未来を描こう！」をスローガンに、2018年度活動方針が決まりました。「よい会社、よい経営者、よい経営環境」を目指し、全社一丸となり実践し、地域に発信する支部を目指していきます。

活動の先導役として、支部長には八代昌弘氏、副支部長に志田清志氏、庄司薫氏が再任されました。

第2部の記念講演では、株式会社Tsumoto FUSE、PhD 代表取締役 布施努氏より「勝ち続ける組織の法則」と題し、心理学を通じた人の内面性からの組織強化についてご講演いただきました。

布施氏はまず、売上を上げるためには、しっかりとした組織作りができて勝つチームであることが重要。きちんと組織作りをすると機能する組織に変わっていく。組織に所属する人がこの組織のために全力を尽くすぞとってもらえるようにするには、リーダーの影響力が一番大きいと提起しました。

そのためには、まずは自分を知ることが必要。人の性格は成熟すると言われており、成熟することによって自分自身を知ることにつながる。そして、性格が成熟した後は自分の性格をコントロールしその場の状況に合わせて自分の性格を演じる「役割性格」というものがあると説明。また、人は他人からスイッチを入れられるのではなく、自分でスイッチを入れることが大事。自分でスイッチを入れた人だけが、起きたことに対して向き合える。自分でスイッチを入れられるような組織・チームをつくるのがリーダーの役割であり、ミーティング等では話しやすい雰囲気、できることから少しずつやろうよと語りかけられるような

リーダーが必要であると語られました。

また、組織にはチームエネルギーというものがあり、チームエネルギーが出ない組織の特徴としては、消去法で考える、自己評価が甘い、課題がない、挑戦意欲がない。そういう組織では、所属している人が自分は成長できないと思い辞めてしまい人が採用できない組織になってしまう。逆に、チームエネルギーが出る組織は、自分で目標を立てられる、目標を修正する能力がある、自分の目標と組織の目標を関連付けることができる、状況を受け入れることができるという特徴があり、この人たちとなら良い仕事ができる、ここにいたら自分は成長できると思うようになり、人が集まる組織になる。そのためには、仮説を立て行動・検証し課題化する。この循環を早く繰り返せるようになることが大事であると語りました。



最後に勝ち続ける組織の特徴として①ひとりの人間としての気遣いがある②何を期待されているか理解している③学び、成長する機会がある④ひとりひとりが必要な能力や気力を持っている⑤成長を励ましてくれる人がいる⑥仲間は、質の高い仕事に分かっていてそれをしようとしている⑦いい仕事をしたことを理解され、褒められたり認められたりしている⑧自分の意見が考慮されていると感じる⑨自分の会社の信念や方向性にとって自分の仕事は重要なもの⑩この仲間と一緒に何かをしたいという10点を挙げ、「今日の話は実践すると効果がある。ぜひ明日からの実践につなげていきましょう」と語り締めくくられました。



今年も来てける！ みんなで学ぼう！！



5月17日、ホテルシンフォニー本館を会場として第32回寒河江支部総会が開催され、支部内外から30名が参加しました。

第1部の総会では、「今年も来てける！ みんなで学ぼう！！」をスローガンに掲げた2018年度活動方針が決まりました。同友会の仲間とともに課題を発見し、解決に向かっていく支部をめざします。

活動の先頭に立つ役員として、支部長には阿部敦氏、副支部長には井田進一郎氏と穂積勇人氏が再任されました。

第2部の記念講演では『東京オリンピック後の世界観』～サバイバルの準備はできていますか？～と題して、ソフトコミュニケーションズ株式会社 代表取締役 秋葉薫氏を講師にお迎えし、統計、文化の変化、マーケティングなどの側面からご講演頂きました。

まず秋葉氏は現代の課題とされる人口減について日本史上4回目の現象であると説明。その理由として文明・文化システムの転換が要因であると分析します。世界的に情報化社会への移行が進む中で、高度経済成長期から低成長期へ移行し、消費者の傾向も「みんなが持っているものを」から個人主義へと移行し、これからは人とのつながり、物のシェアを重視する「脱産業社会」の動きが進んでいます。

また、仮想通貨の普及、AIのクリエイティブ領域への進出、クラウドファンディングなどビジネスが激変している点について秋葉氏は「単純に人が行う仕事はなくなるということではなく、成熟した社会の中で人間は『難しい仕事』だけを行うようになるということではないか。これからの準備として、『難しいこと』をやっていく必要がある」と提起します。

そのために必要な「商売の原理原則」として、顧客の流動と飽きに向き合い、新しい価値を常に告知、提供する必要があるとし、自社の事例として「web媒体のお客様に紙媒体の仕事も受けている」と驚かれる。紙媒体のお客様もその逆」と紹介し、既存サービスでさえも周知が重要と強調しました。そして安易にweb媒体に頼り、自然に顧客が来るのを待つのではなく、紹介や口コミにつながる質の高い仕事を優先することを提案し、良いお客様と安売りせず、長い関係を構築することが未来へつながると語りました。



そして秋葉氏は自社の売り上げ・利益推移を提示し、企業の業績推移は外部環境より内部環境が要因として強いのではないかと問題提起。顧客のニーズ・ウォンツだけでなく不満も一つ一つ分析すること、新規客に安定した既存サービス、既存客に新サービスを提案していくこと、急がない社員教育といった内部での取り組みが重要だと語りました。

最後に、現状把握、顧客との長い付き合い、従業員の働き方の多様化への対応がなければ2020年後以降は生き残れないとし、「混乱期だからこそ基本に忠実に、『だろう』で思考するのではなくお客様、従業員、サービスの事実をとらえて行動する。皆様でオリンピック後の世界を楽しみましょう」と締めくくられました。





2019年3月卒業予定の大学・短大・専門学校生を対象とした共同求人活動がスタートしました。今年度は23社の企業が参加しています。2月に「就職担当者との就職懇談会」を開催し、大学・短大・専門学校の担当者の方と情報交換を行い就職活動のキックオフとなりました。3月には「ジョブウェイ山形2019就職情報誌」を発行し、県内外の学校訪問を行いました。

4月26日には、山形テルサに於いて第1回合同企業説明会が開催されました。22社の企業が参加し、学生の参加人数は26名(うち、大学生14名、短大生7名、専門学生5名)でした。

日本経済を支えているのは中小企業

説明会に先立ち行われた開会ガイダンスでは、佐藤啓共同求人委員長より「中小企業と聞いてどんなイメージを持っていますか？大企業が上で中小企業が下というイメージを持っているかもしれませんが、日本全国の99.7%は中小企業です。そして労働者の全体の7割が中小企業で働いています。ということは日本経済を支えているのは中小企業です。地域に根差して地域に密着をした



サービスや商品を提供する、まさしく地域の暮らしを支えている。これが中小企業です。皆さんの夢と一緒に実現できる、それが我々中小企業であります。今日はぜひ熱い想いを持った中小企業のブースを回り、いろいろなお話していただきたいと思います。」と挨拶がありました。その後、参加企業全22社より学生への一言PRがあり各ブースにて会社説明が行われました。



第1回合同企業説明会の特徴

合同企業説明会を開催するようになり4年目ということもあり、各社ブースの作り方にも工夫が見られ、学生への見せ方が華やかに変わってきました。学生の訪問企業数も平均3社と前回より増加し、賑やかな雰囲気で行われました。時には、ブースに来た学生が自社より他社に向いていると思い、他社のブースに行くよう勧める場面もありました。これはお互いの会社をよく知っている同友会の会員企業が集まったからこそできることで、他の合同企業説明会にはない就活生の立場に立った合同企業説明会となりました。

参加学生からは「大手の就活サイトでは見つからない素敵な企業を知ることができた」「地域貢献したいと考えていたため、地域に密着した中小企業の合同企業説明会は非常に参考になった」「今まで知らなかった企業の話を知ることができ、自分の視野が広がった」などの感想が寄せられ、地域の中小企業を知らせる意味で一定の成果がありました。

また、「この説明会を知ったきっかけは何ですか」という問いでは、「就職課または先生」の回答が多く、参加学生を増やすためには、学校との関係をさらに強化していく必要性を感じました。

6月例会のご案内

・どの支部の例会にも参加できます。・月に一度は参加しましょう。

山形支部

同友会らしいインターンシップとは!? ～山形大学と連携した取り組みで社員が輝く～

2018.6.19(火) 18:30～21:00

場所: 山形テルサ リハーサル室
山形市双葉町1丁目2-3 ☎023-646-6677

報告者: (株)サニックス 代表取締役社長 佐藤 啓氏
山形大学 准教授 松坂暢浩氏

「早期からの就業体験を通して、キャリア意識と学習意欲を高め、働くとは何かを考えよう」という大学の目的と「インターンシップと採用を直結させない」「中小企業の正しいイメージを持ってもらう」「社内の活性化・担当社員の成長機会とする」「一連の活動を社会教育活動として捉える」という我々の目的を共有して推進している大学1年生を対象にした低学年インターンシップ。松坂准教授からは学生のキャリア意識の現状と、この取り組みで学生がどう変化してきたのか、佐藤社長からは人材育成の機会として取り組みと、社内風土づくりはどう生かしてきたかを報告いただき、同友会らしいインターンシップについて深め合います。お誘いあわせの上、ご参加ください。

寒河江支部

会社を守る労働法の考え方

2018.6.22(金) 19:00～21:00

場所: 寒河江市技術交流プラザ 第2研修室
寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

報告者: 若木社会保険労務士事務所 所長 若木 義寛氏

皆さんは経営者として労働法をどのように捉えていますか。
あまり良く思っていない方もいるではないでしょうか。
労働法を敵だと思っただけでは、会社は守れません。
経営者の目線で、事例を交えながら社会保険労務士の若木所長からお話いただきます。

(今回はセミナー型例会です。グループ討論はありません)

さくらんぼ支部

テーマ: 未定

2018.6.28(木) 18:30～21:00

場所: まなびあテラス 講座室
東根市中央南1-7-4 ☎0237-53-0223

報告者: (株)カーサービス山形 代表取締役 小川大輔氏

詳細は別途ご案内致します。

置賜支部

おら、ステーキ屋開店するだpart2 ～経営指針の実践で隣接異業種にトライ!～

2018.6.15(金) 18:30～21:00

場所: 伝国の杜 小会議室
米沢市丸の内1-2-1 ☎0238-26-8001

報告者: 齊加商店 代表 齊加義三氏

6年前、17期にて経営指針をつくる会を受講した齊加代表。「何のために」を明確したことで自社の変革が始まります。自社の課題を洗い出し、ひとつひとつ改善を進め売上は倍増したものの、想定以上の原材料高騰など外的要因もあり利益は横ばい。自社を強固な組織にするには何が必要か? 自社分析を通し「強み」を確認、更なる成長を目指す上で新事業を模索。昨年、中小企業庁の経営革新支援の認定を経て隣接異業種に参入。「おいしさの物語をつくることで、笑顔が溢れる未来に貢献する」という思いを掲げ、新たなステージ作りに挑戦する齊加代表ですが、そこには常に同友会での学びが生かされていました。

同友会に参加し続けたら経営者の本当の仕事を理解し、さらに経営が楽しくなった事例。是非ご参加ください!

庄内支部

スピード変化する現代の中で異業種の実践を知る ～中小企業家同友会としての学びを得る～

2018.6.28(木) 18:30～

場所: 鶴岡市中央公民館 第2研修室
鶴岡市みどり町22-36 ☎0235-25-1050

報告者(各15分):

- ・(株)ARROWS 代表取締役 金野隆行氏
- ・ツルカンシステム(株) 代表取締役 吉宮哲史氏
- ・ジブラルタ生命保険(株)山形支社鶴岡営業所
シニアライフプランコンサルタント・営業課長 長谷川菜穂子氏
- ・(株)スマイルトレード 代表取締役 前野智氏

中小企業家同友会は異業種の経営者が集まり、日々勉強し実践しています。それぞれ入会した動機は違いますが、何らかの悩みや課題を持って門を叩いたと思います。

スピード変化する現代の中で異業種の実践を知ることが、中小企業家同友会で学んでいる最大の強みと考えます。

今回は各社業種の違う方々の報告を聞いて今の時代の中で実践する気づきと学びを得て欲しいと思います。

新庄最上支部

日報で売り上げが上がる!(仮)

2018.6.26(火) 18:30～

場所: わくわく新庄 会議室
新庄市下金沢町15-11 ☎0233-23-0197

講師: きらやかコンサルティング&パートナーズ(株) 新野浩樹氏

詳細は別途ご案内致します。

第1回理事会報告

◆日時:2018年5月9日(水)午後3時~午後5時 ◆会場:山形ビッグウイング ◆議長:後藤副代表理事
◆出席者:(敬称略)川合、西塔、菅原、後藤、齋藤(志)、菊池、阿部(和)、佐藤(啓)、赤塚、齊加、阿部(秀)、武内、八代、板垣、志田、大久保、興田、笹林、事務局 矢作、後藤

■開会挨拶

2018年度第1回理事会にあたり西塔代表理事が、中小企業家しんぶん2018年5月5日号に掲載された中山幹事長の挨拶を紹介し、「今日を私たちが5万名達成の一助を担うスタートとしたい」と開会挨拶を述べました。

■学習会

●報告者:菊池幸生氏

■報告事項

1)各委員会・部会よりの報告

各支部・委員会・部会長から月次報告書を基に報告がありました。

2)第34回定時総会

副実行委員長の興田理事が協力のお礼を述べた後、参加人数と、5/22に実行委員会を開催し、6月理事会に「まとめ」「収支報告書」を提案すると報告しました。

■承認事項(入・退会承認) 1名入会 1名退会 5月9日現在402名

■討議事項

議題1:2018役員研修会について

西塔代表理事が同友会運動を担う役員の条件などについて説明をした上で、今年度より3回シリーズで行う役員研修会の開催要項が提案され、承認されました。また、6月13日17:00から山形ビッグウイングにて開催予定の役員研修会オリエンテーションについて、理事会外の各支部幹事への呼びかけが要請されました。

議題2:中同協第50回定時総会について

参加目標:40名 グループ長:10名

西塔代表理事より上記の目標達成へ向けて参加呼びかけがあり、理事の出欠確認を行いました。

議題3:組織委員会より

菅原代表理事が各支部より課題として挙がっていた「グループ長育成」を図るために、「グループ討論の進め方ナビ」という8つの項目に分けた冊子を幹事会や例会前の打ち合わせで活用していくこと、準会員制度については各支部から意見を集約し、制度の原案を作成していくことが決まったこと、青年部については5月24日に打ち合わせを行い、方向性を定めて提案することを報告しました。

また、一年間掲載されるプレジデントの同友会特集は、同友会の魅力が盛り込まれた内容で、増強ツールとしての活用を紹介しました。

議題4:社有車の保険見直しについて

西塔代表理事より社有車2台の自動車保険の内容の見直しが提案され承認されました。

議題5:事務局の諸規定の作成について

西塔代表理事からパワハラ、セクハラ等に関する防止規定、より整備された就業規則、議題4を踏まえた車両管理規定などを整備する

提案があり、会員企業が流用しやすいモデル規定を目標とし、作成を進めていくことが決まりました。

■その他

1)行政・他団体との予定

・平成30年度第1回「山形新卒者等人材確保推進本部会議」

●日時:5月15日(火)13:30~15:30

●場所:山形労働局

・平成31年3月高等学校卒業予定者を対象とした求人確保のための訪問要請

●日時:5月17日(木)10:30~11:30

●場所:山形同友会事務局

●訪問者:山形労働局長 庭山佳宏氏

山形県商工労働部次長 木村和浩氏

・第9回きらやか経営者セミナー

●日時:5月31日(木)13:30~

●場所:天童市市民文化会館・天童ホテル

2)今後の予定

山形市との条例に関する学習会	5月16日(水)13:00~15:00山形市役所
第32回寒河江支部総会	5月17日(木)ホテルシンフォニー本館
第24回さくらんぼ支部総会	5月18日(金)まなびあテラス
第4回新庄最上支部例会	5月21日(月)ニューグランド
第14回庄内支部総会	5月22日(火)グランドエルサン
第32回山形支部総会	5月23日(水)山形国際ホテル
中同協「働く環境づくりのガイドライン」試案説明会	5月30日(水)15:00~17:00宮城同友会事務局
中同協 中小企業憲章キックオフ集会	6月5日(火)東京
中同協 第5回幹事会	6月6日(水)東京
中同協 第21回女性経営者全国交流会	6月21日(木)~22日(金)埼玉
中同協 第50回定時総会	7月5日(木)~6日(金)宮城
中同協 第1回幹事会	7月6日(金)宮城

3)第2回理事会日程

●日時:6月13日(水)午後3時~午後5時

●会場:山形ビッグウイング

4)新理事あいさつ

新理事である興田氏、笹林氏、志田氏、大久保氏と現理事を代表して板垣氏が抱負を述べました。

■閉会挨拶

川合相談役理事が「学習会の中で外部環境・内部環境の話があったが、『働き方改革』の中で各経営者がチャレンジしている。同友会では以前から取り組んでいる企業が多いが、それでも様々な課題がでてくる。解決のために意見交換しながら取り組んでいこう。会議は物事を決める場。今日決定したことをPDCAサイクルが回り成長するように取り組んでいきましょう」と閉会挨拶を述べました。

新会員
紹介

くわじま せいいち
◇桑嶋 誠一氏
(株)エフエム山形
代表取締役社長
ラジオ放送業
山形支部

会員変更

役職変更

- (株)山形ハーネス 専務取締役 佐藤嘉博氏
⇒専務取締役 きの とおる 木野 徹氏(庄内支部)
- 寒河江印刷(株) 専務取締役 小松幸儀氏⇒代表取締役(寒河江支部)
- (株)スズデン 営業課長 井上勝寛氏⇒営業部長(置賜支部)

同友やまがた6月号 (2018年6月1日発行/通巻303号)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
URL:http://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp



【社員共育委員会】

売上・利益・働き方

社員共育委員会は毎月第 3 水曜日に委員会を事務局にて開催しています。

その中で「学習会」という時間をとり、決められた報告者が問題提起をし、討論しています。

先月は K 社長から、「売上・利益・働き方」について問題提起をして頂きました。

.....

納期や時間などの面で無理難題にもこたえられる対応力を強めとし続けてしまうと社員にとっては多大な負担。

つい先月もそういったタイプのお客様と不穏な状態になった。自社が仕事を選ぶ必要性を実感している。いずれは無茶な仕事をすべて切っていきたいと考えているが、今は自分が営業していることを活かして仕事の選別を始めながら「付加価値とは何か？」について深堀をしていきたい。

参加者からは以下の意見がありました。

「残業について遅い時間のサービスの対価をお客様から割増料金などの形でいただくこともできるのではないだろうか」

「自社でも会議で中小企業は残業をしてなんぼとの意見があり課題となっている」

「休日出勤の振休を義務付けすることで休日出勤は激減、売り上げもキープできたのだが、営業は現場に対してなるべく出てほしいと考える意識の違いも浮き彫りになった」

「急なこともやってくれるは付加価値なのかどうかから考える必要があるのではないか」

「自社ではどうやったら定時で終わるかから逆算して現場が各人に仕事を割り振るので、急な仕事があっても残業せずに済んでいる。また、現場でも「断るべき注文」というものは共通認識できている。また、高単価の商品で付加価値を上げている。」

「中小企業は、仕事の選べない時期にチャンスがあれば何でも引き受け、自身や強みが明確になることでやっと選ぶことができる、という側面もあるのではないだろうか」

「現場の営業に利益についての責任はないので、経営レベルでチェックを行い、データの蓄積からの原価収益管理、顧客のランク付けを社員と共有していく。方針・戦略に基づいてなぜ一見収益性の低いこの仕事を切らないのか？といった部分も明確に伝えている」受「注事業は撤退という選択肢を選べるので、撤退すべき仕事をスクラップ、新しい仕事を戦略的にビルドしていかなければならないのでは」

「社員に無理をさせても、仕事がなくとも会社はつぶれる。方針・計画に基づき社内で情報を発信、共有できるか。そして果たしてこの付加価値は社員の幸せにつながる付加価値かという視点が大事ではないか」

と様々な意見が出ました。

売上、生産、残業、働き方改革、利益、などどれも複雑に絡み合っています。

将来何をを目指すのか、会社・職場のあるべき姿は何なのかを考えて現在とのギャップを測り、そのギャップをどう埋めていくかを指針書に入れ、社員と共有して推進する必要があると感じました。

.....

こんな学習会をしています。

自社の経営課題をお持ちになってゲスト参加してみませんか？

【次回社員共育委員会】

■日 時：6 月 20 日（水）17:30～20:00（基本的に毎月第 3 水曜日に開催しています）

■会 場：山形同友会事務局（山形市南館 3-26-26 スタジオ・アヴァン 102 電話 023-645-5500）

※同友会事務局に電話 1 本で OK！ゲスト参加お待ちしております。

【女性部会】

女性部紹介

山形同友会女性部会は、今年で発足 10 周年を迎えました。設立当初、「なぜ女性だけ独立する必要があるのか。経営者に男も女もないはず。」を問い続けた創始メンバーが、女性経営者全国交流会（女全交）に参加し気づきを得ます。

同友会に毎月参加する女性経営者は、ほうっておいても学ぶ機会に当たる。しかし、まだまだ日本の女性は、家庭・地域のなかで、がんじがらめになって自分の意志で動きが取れないでいるかたも少なくない。平成が終わろうとしている今日は、だいぶ女性を取り巻く環境も変わりましたが、まだまだ根強く残る、女性自身が価値観にしばられ、学べないという実情。

ならば、せめて、日中のじかん夕方まで終わる時間で、女性同士が集まって、腹を割って経営の話をしよう、悩みを打ち明けあおう！というところから、スタートしました。

今では、メンバーの多くが、経営指針作成・委員会活動・全国行事参加・支部幹事・理事、と、同友会活動を通して、女性経営者、女性リーダーとして成長してきました。

日本人はまだまだ、ライフワークバランスを取るのが苦手です。男性も女性も、仕事为中心すぎてプライベートがバランスを崩したり、ライフを優先するあまり、仕事が思い通りに進まずせっかくの能力を発揮出来ずにいたり。

是非、女性経営者はもちろん、経営者夫人、女性幹部、女性を雇用している男性経営者の皆さんで集って学びあいましょう。10/17（予定）には、10 周年記念事業も計画しています。これを機に、山形同友会は「生き活きと働ける会社」が多く活気ある社会づくりが進んでいます！といえる、地域になりたいと希望に燃えています。

女性部を是非、のぞきに來てください！お待ちしております。

【次回女性部会例会】

■日 時：7月17日（火）14:30～16:30

■会 場：山形同友会事務局

（山形市南館 3-26-26 スタジオ・アヴァン 102 電話 023-645-5500）

※詳細は追ってご連絡いたします。お楽しみに！

